



発行所 国鉄労働組合 盛岡地方本部
発行 佐々木 力
編集者 及川 孝
TEL 019-622-5021
メールアドレス nrumori@poem.ocn.ne.jp

2016.8.10 第1496号

拡大キャッチコピー 「新しい仲間づくりを 皆の力で」 「一緒に解消しませんか、 あなたの疑問。 加入ってます」

第13回青森支部 組織拡大対策会議
交流を大切に拡大の取り組みを
実践に向け分会活動を活性化していく

青森支部は第13回組織拡大対策会議を7月16日、13時30分から青森県労働福祉会館(青森市)で25人の参加者の中で開催した。
会議には、今年3月に郡山駅で5人の国労加入を実現している郡山駅連合分会の千葉分会長、国労加入した佐藤さん、仙台地方本部の原書記長、千葉組織部長の4人に参加頂き、日頃から職場で、飲み会やレクリエーションなどでのつながりを大切に、組織拡大へつなげていく働きかけなど、生の声を聞く中で「職場で具体的に実践し、組織拡大の取り組みを活性化していく」ことへの意思統一をはかった。(今報告は、高瀬弘支部執行委員)

郡山駅連合分会の取り組み学ぶ

最初に支部を代表し阿部委員長が「青森支部の組織拡大は、3年前を最後に結果が出ていないが、この間も各分会での取り組みを継続していた



郡山駅連合分会の取り組みを報告する佐藤分会長

だいていることと思う。本日は、組織拡大に大きな成果をあげている郡山駅連合分会の分会長をはじめ、仙台地本から4人をお招きして交流する

ことから、各分会での組織拡大活動の活性化につなげていくこと、各分会で、座長に就任し会議が進められた。
続いて沢田地方本部書記長は、「先の参議院議員選挙では、残念ながら改選勢力が憲法改正を賛成できる3分の2の勢力を占めてしまった。厳しい結果ではあるが、東北では秋田を除く5県で野党統一候補が勝利するなど、一定の成果も得られた。今後も護憲・平和をはじめ、喫緊の課題である組織拡大などにしっかりと取り組んでいかなければならない」と述べ、活動の強化を促した。
今年3月に5人の加入など、組織拡大に大きな成果をあげている千葉郡山駅連合分会は、「郡山駅の改札は国労組合員が中心になって仕事を回している職場で、職場の中心に国労がいることを助役も理解している。私が10年前に郡山の

盛岡の取り組み2人が発言

第85回定期全国大会 (伊香保温泉)

第85回定期全国大会は、群馬県伊香保温泉「ホテル木暮」で7月28・29日に開催されました。盛岡地本からは、代議員5人、佐々木地方本部委員長、傍聴2人の8人が参加しました。
28日10時、佐々木副委員長の開会挨拶で始まり、代議員・特別代議員・執行部の出席を確認し、大会が成立していることを宣言しました。議長には倉林代議員(高崎)、副議長に井草代議員(東京)を選出し、議長が進行し、坂口委員長の挨拶に続き来賓の方々の祝辞、宮里弁護士から常任弁護団の報告を受けました。

その後、委員長挨拶の「第71回定期全国大会での統制処分」に関する部分に対し、中央執行委員会の見解を求める代議員からの発言があり、午後の冒頭で答弁することが報告され昼食休憩に入りました。
午後に入り委員長挨拶をめぐり全国代表者会議が開催され、挨拶の一部を撤回するという坂口委員長の発言で事態が収拾し、議長が進行されました。経過報告で5人、方針討論でも5人が発言。18時から財政小委員会の開催となりました。

盛岡地本からは、経過報告の質疑で田崎代議員(青森支部)が組織拡大の取り組みの報告と組対費の継続と4月1日の国労のホームページ掲載の経緯を明らかにすることを求める発言をしました。
大会2日目冒頭、横森代議員(東京)他4人と小林代議員(盛岡)他4人が提出した「組織の在り方とナショナルセンターとの関係」「規約解釈」2本の修正動議の趣旨説明が行われ、その後討論を再開。15人が発言し盛岡の沢田代議員は、新採組員の加入の取り組みの経過報告と組対費の継続要請、第3セクター会社やグループ会社に働く社員との交流等を通じて、労働組合について理解を深めてもらい、組合結成支援や組織化

が求められているという立場から、修正動議に賛同する発言をしました。
昼食休憩後書記長集約を受け修正動議の採決が行われた結果、2本とも賛成24・反対25で否決され、方針原案が拍手で採択されました。
その後、財政小委員会報告と組対費の議案を承認、スト権を全代議員の賛成で確立し、中央委員30人(盛岡地本は沢田光広・田崎秋弘代議員)を選出しました。
特別決議と大会宣言を拍手で確認し、最後に坂口委員長が代弁してくれる人が必要だ。政治に自己中心的なレオパ

モンはいらない(孝)

改札に戻った時には、職場の先輩たちが、国労が中心の職場を既に作り上げてくれていた。改札社員の仕事での問題などには所属組合の分け隔てなく相談に乗り、飲み会などにも他労組の社員もどんどん誘っている。遠距離通勤の解消に向け取り組んだこともあった。若手の女性社員が、会社側の飲み会を欠席して国労の飲み会に参加してくれたこともあった。職場内の交流を通じて職場の問題を改善し

ようとしてくれるのは国労だけだと認識してもらっている。このような職場の雰囲気は、職場の組合員がみんなで作って来たものだ。そんな職場で私が取り組んでいるのは、顔をあわせたら「そろそろ国労へ来ないか」と毎回のよう



東日本本部主催の「主務職・助役職等交流会」が7月2日大宮の宇宙劇場で25人(盛岡からは横内俊博、小林元さんと私小笠原、沢田地本書記長が参加)が参加し開催されました。交流会は助役・主務という立場で会社の業務指示と組合運動の間で悩み苦しんでいる組合員を孤立させないため、交流と情勢の共有化を図る目的で開催されました。
秋田地本の主務の方から「助役に登用されそうだが、助役になっても人事考課をやらなければならなくなるのが一番苦痛だ」という発言があ

りました。国労で頑張ってきた、いきなり管理者の仕事やらなければならなくなるジレンマに苦しんでいる実態が浮き彫りになったように感じました。私は、公平・公正な立場で職務を全うし風通しのいい職場をつくる管理者になってほしいと思いました。
盛岡地本でも主務職18人、技術専任職2人の組合員がいますが、1人で悩みを抱え込んでいる人は多く、皆で共有し解決していかなければならないという思いを強くしました。
技術専任職や主務職の組合員の多くは職場の人材育成を担っていると思います。若手と交流する機会も多いと思います。若手が抱えている悩み

に真摯に対応することで、信頼し合える関係をつくっていきたくと思いました。
八戸工務分会 小笠原茂俊

当面の主な日程
▽8月21日・22日(埼玉) 第30回東日本本部定期大会
▽8月27日(盛岡) 地方本部「主務職等交流会」
▽8月29日(盛岡) 第12回地方本部執行委員会

▽9月3日・4日(零石) 第13回地方本部組織拡大対策会議
▽9月11日・12日(宇都宮) 第4回国労東日本本部ゴルフーナメント
▽9月24日(盛岡) 地方本部ボウリング大会

国労東日本本部
若手の悩みに真摯に対応し
信頼し合える関係を作りたい
(主務職・助役職など交流会)

子供から大人までを夢中にさせるスマートフォン用ゲーム「ポケモンGO」。ポケモンというキャラクターの人気と、捕らえた種類がわかる「図鑑」を完成させる喜びが人々を熱中させている。基本的には無料で遊べるようだが、一部のアイテムは有料でも手に入るらしいのでゲームに夢中になり思わぬ出費に注意が必要だ。この夏休み、盛岡市内でも朝から夜遅くまで徘徊する人の光景も。岩手公園周辺やもりおか歴史文化館前の公園では夜になっても多くの人が練り出している。真っ黒に日焼けしたポケモンプレイヤーが沢山いるのは平和である証明なのか▼スマホを片手に歩くのも実際のゲームの要素のため、事故やトラブルには十分注意してほしい。先日、高速道路でのスマホ運転を目撃した。大事故になる前に運転中のスマホや駅・ホーム上の歩きスマホはやめてほしい▼政治の世界では若手選挙区選出の某参議院議員が無所属から「自民党へGO」。旧自由から旧民主と渡り、復興大臣などを歴任するも民主党が野党になれば無所属へ。政治信条はあるのだろうか、少なくとも反自民で当選したことを考えれば県民への裏切りともとれる。衆参両院での「改選勢力」が3分の2を超え、戦争へ突き進む道筋ができてきた。同氏の行動は、参院で自民党単独過半数に達する122議席を確保するなど大変重い意味を持つ▼昨年、岩手県知事選挙の出馬を表明するも、ドタキャンしたのは記憶に新しい。政治はゲームとは違う。私たちの声を取り上げ代弁してくれる人が必要だ。政治に自己中心的なレオパ

第24回定期委員会 盛岡地方貨物協議会

効率化施策のもと労働条件低下

職場の問題取り上げ改善に努力

議長に石戸谷氏(盛岡貨物)を選出

7月24日、盛岡国労会館で盛岡貨物協議会第24回定期委員会16人の参加で開催された。来賓に佐々木盛岡地本委員長と高橋東北貨物協議会議長を迎え、佐々木委員長から「貨物会社の構造矛盾と北海道、九州の問題、参議院選挙、組織拡大、山田線の状態」高橋議長からは「貨物会社の状況、貨物労組の姿勢、



=あいさつに立つ石戸谷議長=

組織拡大、東北ロジへの申し入れ」について挨拶を頂きました。石戸谷協議会議長からは、「貨物会社は、鉄道部門の黒字化が必須として17年連続のベア・ゼロ、期末手当の抑制で乗り切ろうとしている。八戸からの遠距離配転も引き続き解消を求めていく。労働条件改善要求の団交で改善が図られている部分が出てきてい

は9人の委員から発言がありました。「職場環境改善の報告及び要求、年末手当の要求、組織拡大について、職場の要員不足の状況及び要求、作業上の安全問題、水沢での脱線事故、北海道での短絡事故、協議会活動」についてそれぞれ報告や質問が出され、議論が交わされた後、1年間の闘う方針が確立され、最後に石戸谷議長の閉会挨拶で、委員会は終了し、懇親会で交流を深めました。

「何故・なぜ」職場実態 悩みを大いに語り合う

女性社員交流会(東日本本部)

国労東日本本部主催の「女性社員交流会(第26回)」が7月9日・10日に長野のレクレイト軽井沢で24人(現職16人、OB5人、東日本本部役員・書記3人)が参加し開催されました。盛岡からは、山田みゆ・小野寺京子・佐々木智子・小林楓さんと私盛岡が参加しました。おさんずの参加者もあり、少人数でしたがとても和やかに楽しい交流会となりました。初日は「セクハラ・パワハラ」について、岡部玲子弁護士から講演を受けました。30年前の男女機会均等法の条文

かしい事はおかしいと言える組合、差別は許さない流れは自然に委ねられ受け継がれていくこと確信いたしました。翌日は、労働実態アンケートの討議です。「何故、女性のいる職場にトイレが無いのか」「何故、東京は看護職のエルダーが無いのか」など沢山の疑問・何故について、6月10日の女性部の労働条件に関する交渉報告がありました。最後に佐々木久恵女性部長が「女性組合員のさらなる拡大を可能にするため、まずは自身と家族の健康を大事にして仲間の声に耳を傾けて要求を掲げていきましょう」と訴え、国鉄労働組合歌を謳歌して終わりました。大先輩OBの皆さんの応援は女性部にとって力強い励みとなり宝になりました。

地本互助会だより
万が一にそなえよう
自分と家族のために
|| 期末手当付加給付制度 ||
互助会の「期末手当付加給付制度」は、病気等の欠勤で期末手当に期間率が適用となつて減額された組合員の生活保障をするための制度です。
2002年の制度発足以来現在206名の方が加入。給付件数は123件。給付金も1,220万円ほど支払いをしております。
給付を受けられた組合員からは「付加給付制度」に加入をしていて本当に良かったと声を大にして喜ばれ、互助会として生活保障の一躍を担うことができました。是非、この機会に、もう一度身の回りを考え、今制度に加入されますようご案内致します。
今回の募集は、2016年10月期加入となります。掛金は、2016年10月から徴収し、給付発生は、来年度の夏季手当減額分となります。
それ以降の加入時期は、

JR・出向先の労働条件改善に全力

車掌・営業・構内分科で実態交流

東北3地本運輸協同会東北ブロック交流会が今年7月28日、東北3地本連協東北ブロック交流会が今年7月28日、29日に、50人の参加で岩手の鶯宿温泉「赤い風車」で開催されました。(秋田7・仙台25・盛岡17・来賓1人)
全体会議は盛岡の辻事務長の司会で始まり、盛岡の小野寺議長から「駅の委託化、無人化、ワンマン運転の拡大など我々を取り巻く情勢は、厳しいが今回の交流を通して解決の足掛かりにしたい」と挨拶がありました。次に、菊池東日本本部運輸協議会議長から、JRの今情勢と現状を聞き、より一層の組合員の団結、踏ん張り努力が必要と認識させられました。その後各分科別に分かれ討議がされました。

車掌分科では、17人の参加者で、タブレットの個人貸与による保管管理・使用方法など、IT社会についていかなる年配者の悩みが窺われま

者で、職場は年齢構成が高く、若い社員が配属後、ある程度仕事を覚えても指令が発令され、職場自体の技術継承が出来ないと報告が有りました。
厳しい中だけでも、若い人に問題提起など一生懸命の姿を見せて、国労は頑張っていると思ってもらい国労加入に向け頑張りたいと力強い決意を受けました。夕食交流会では、親睦・激励しさらなる決意が確認されました。
翌日は9時から2回目の分科別交流会が行われ、さらなる多くの職場の問題点などが挙げられました。最後に全体会議が行われ、新加入された郡山駅信号担当、二ノ宮健さんより国労加入の経緯、決意などを聞き、満場の拍手で歓迎。新規国労加入者獲得に向けての新たな闘いを決意し小野寺議長の「団結ガンバロ」で閉会しました。
盛岡運輸協同会 辻 俊春

種差海岸散策と海鮮井

=地本家族会学习交流会=

7月10日、地方本部家族会「学习交流会」が風光明媚な種差海岸で開催されました。菊池要悦地方本部組織部長が同行し、盛岡支部家族会から5人、青森支部家族会から3人の計9人の参加でした。
それぞれ新幹線で八戸駅に降りて八戸線まで徒歩で移動、そこからは種差海岸遊覧バス「ワンコインうみねこ号」という百円バスで、ガイドさんの丁寧な説明を聞きながら種差海岸まで歩きました。種差海岸に到着後は昼食の時間まで自由行動、各自海岸

を散策、種差インフォメーションセンターを見て回るなどしました。楽しみの昼食は「芝亭」という磯料理のお店で海鮮丼をいただきました。本当に新鮮でボリュームがあつて、私ほども満足でした。
きれいな景色を眺め、のどを潤し、美味しいものを食べて、楽しく交流を深めることができたと思います。昼食後はまたワンコインバスで鮫駅まで戻り、八戸線まで徒歩で移動し、駅前で購入物を楽しんで解散しました。
今回の交流会を行うにあたり、

東北3地本連協東北ブロック交流会が今年7月28日、29日に、50人の参加で岩手の鶯宿温泉「赤い風車」で開催されました。(秋田7・仙台25・盛岡17・来賓1人)
全体会議は盛岡の辻事務長の司会で始まり、盛岡の小野寺議長から「駅の委託化、無人化、ワンマン運転の拡大など我々を取り巻く情勢は、厳しいが今回の交流を通して解決の足掛かりにしたい」と挨拶がありました。次に、菊池東日本本部運輸協議会議長から、JRの今情勢と現状を聞き、より一層の組合員の団結、踏ん張り努力が必要と認識させられました。その後各分科別に分かれ討議がされました。

車掌分科では、17人の参加者で、タブレットの個人貸与による保管管理・使用方法など、IT社会についていかなる年配者の悩みが窺われま

者で、職場は年齢構成が高く、若い社員が配属後、ある程度仕事を覚えても指令が発令され、職場自体の技術継承が出来ないと報告が有りました。
厳しい中だけでも、若い人に問題提起など一生懸命の姿を見せて、国労は頑張っていると思ってもらい国労加入に向け頑張りたいと力強い決意を受けました。夕食交流会では、親睦・激励しさらなる決意が確認されました。
翌日は9時から2回目の分科別交流会が行われ、さらなる多くの職場の問題点などが挙げられました。最後に全体会議が行われ、新加入された郡山駅信号担当、二ノ宮健さんより国労加入の経緯、決意などを聞き、満場の拍手で歓迎。新規国労加入者獲得に向けての新たな闘いを決意し小野寺議長の「団結ガンバロ」で閉会しました。
盛岡運輸協同会 辻 俊春

車掌分科では、17人の参加者で、タブレットの個人貸与による保管管理・使用方法など、IT社会についていかなる年配者の悩みが窺われま

10月期加入・増口案内
期末手当付加給付制度
〈掛金徴収〉
・2016年10月から
〈給付発生〉
・2017年夏季手当減額分から
〈期間率調査期間〉
・2016年10月1日～2017年3月31日
〈問い合わせ先〉 担当・村上真一まで(毎週・木曜日勤務)
TEL (JR) 033-2276
TEL (NTT) 019-652-4841